

2020年4月のイレブンアクション

4・10昼休み宣伝行動

福島第1原発事故から9年1カ月。いまだに4万人を超える（福島県発表）県民が避難を強いられ、避難指示が解除された地域でも7割を超える住民が戻っていません。事故から10年目に入っても、汚染水の流出は止められず、事故収束の見通しも立っていません。新規制基準に「適合」しても安全と言えない（規制委員会）原発が、人間社会と共生できないことも明らかです。

ところが、安倍自公政権と東電は、“復興五輪”をうたって、被災者と被災地への支援を次々打ち切り、ふるさとの再生や生業の再生、完全賠償にも背を向け、福島切り捨てを強行しています。国と東電に、ふるさとを返せ！生業の再生を！徹底除染と完全賠償を!!させましょう！

泊原発は、審査開始から7年、いまま敷地内断層が活断層であると否定できないばかりか、胆振東部地震の時のブラックアウトでは、全外部電源が喪失、あわや福島原発事故の二の舞かと不安が広がりました。国も道も、北電に、泊原発の再稼働を断念し、即時廃炉を決断するよう求めるべきです。

安倍政権の原発・核燃料サイクル政策推進は総破たん 原発ゼロへ転換の年に！

安倍自公政権の原発・核燃料サイクル推進政策も、再稼働はすすまず、再処理工場は竣工できず、原発輸出もすべて破たんするなど完全に行き詰まっています。今年は、解散総選挙が濃厚と言われます。市民と野党の共闘をさらに発展させ、安倍政権を退陣に追い込み、「原発ゼロ基本法案」の制定で、原発ゼロ実現への道を切り開く年にしましょう。

- ◇日時 2020年4月10日（金）12時15分～45分
- ◇場所 札幌紀伊国屋書店前（JR札幌駅西隣）
- ◇主な行動 横断幕を掲げ、『原発ゼロ基本法を実現しよう』と音宣伝とパンフ配布、泊原発再稼働の賛否を問うシール投票など。



原発ゼロ基本法を実現しようと呼びかけ（20年1月10日）



子育て中のお母さんも再稼働反対に投票（2020年1月10日）

主催：原発問題全道連絡会・国民大運動道実行委員会

〒003-0805札幌市白石区菊水5条1丁目4-5 電話:011-815-8181、Fax:011-815-4545